

作曲芸術部会主催招聘講座

# 「創造的作曲の可能性 サクソフォーンの現代」

Chun-hao KU 顧鈞豪 氏 (サクソフォーン)

通訳 岡本和子 氏 (英語⇄日本語)

**顧鈞豪** Chun-hao KU サクソフォーン奏者



1981年台北生まれ。5歳からクラシックピアノを始める。小学生時代には合唱団に所属し、中学時代はトランペットを演奏。16歳のときサクソフォーンを学び始める。1999年、台中の東海大学音楽学部サクソフォーン専攻に入学。アニー・チャン博士のクラスでオーケストラ指揮の授業を4年間受け、チェン・メイチュン博士に師事し副科で作曲を1年間学ぶ。

台湾で大学と兵役を終えた後、渡仏。2005～2010年にパリへ留学、2016～2018年ウィーンへ留学する。ジャン＝イブ・フルモー、アレクサンドル・スイヤール、ラース・ムレクシュに師事。2005年にセルジ・ポントワーズ音楽院のジャン＝イブ・フルモーのスタジオに通い、当時クラスで初の台湾人学生となる。音楽院では室内楽、音楽理論、アカペラ、古楽解釈、編曲のクラスを受講。2006年から2010年までRATPフィルハーモニーとルヴァロワ管弦楽団の首席サクソフォーン奏者を務めた。フィルハーモニア・モーメント・ムジコー(PMM)と国立台湾交響楽団(NTSO)のソロ・サクソフォーン奏者としても注目されている。現在、ISCM-TWのミュージシャン、台湾でソリスト/エグゼクティブプロデューサーとして活躍している。

2014年、2016年「I-Saxo 国際サクソフォーン シンポジウム」主任主催者。

(2014年、2016年、2018年、i-Saxo インターナショナル フェスティバル。)

2010年から2014年の間、東海大学で定期的に音楽の講義を実施。

2019年、モスクワのサウンドドラマスタジオにサクソフォーン奏者として招待される。

国家音楽廳 (National Concert Hall of TAIWAN) にエグゼクティブ・プロデューサーとして招致され、2019年台南芸術祭、2018年イノベーションシリーズ、2016年と2017年には台北新音楽祭のISCM-TW委嘱作品コンサートに携わる。

サクソフォーンに関するKu氏による翻訳書は以下の3冊が出版されている。

1. Méthode pour étudier le saxophone / Jean-Marie LONDEIX (which already has Japanese version as well)

Translated published date : 2018

2. Le Triangle de l'efficacité / Christophe BOIS

Translated published date : 2020

3. Mon Lexique du Saxophone / Christophe BOIS

Translated published date : 2022

HP

<https://www.chunhaoku.com/>

【日程】 2023年5月24日(水) 18:30～20:15

【会場】 中目黒・代官山キャンパス **C401教室** (5/17 更新)

※作曲芸術部会主催企画です。作曲芸術関係の学生は原則参加のこと。